

令和7年度 小学部の教育目標及びめざす児童の姿と重点事項

学校教育目標	児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行い、生きる力や可能性を限りなく伸ばし、自立と社会参加に向けて心豊かに生きる児童生徒を育成する。
学部教育目標	一人一人の教育的ニーズや特性、能力等に応じた適切な指導・支援を行い、身の回りの様々なことに興味・関心を広げ、日常生活の基本的な習慣を身に付けた児童を育成する。

学校がめざす児童生徒像	学 部 が め ざ す 児 童 の 姿 と 重 点 事 項	
心身共に健やかな児童生徒	1	笑顔にあふれ、元気に活動する児童
	重点事項	(1) 児童の健康状態を常に把握し、感染症対策を継続して健康な状態で学習ができるようにする。医療的ケアにおいては安心安全に実施できるよう留意し、充実した学習指導が進められるようにする。 (2) 4 S（整理・整頓・清掃・清潔）を意識して、けがや事故を防止する環境づくりに取り組み、「ヒヤリ・ハット」の集約、共通理解を図り、安全確保に努める。 (3) 学校生活を通して体力や気力の保持増進を図り、健康に過ごせるようにする。 (4) 児童一人一人の人権を意識して、相互の信頼関係を育むような指導に努める。
互いのよさを認め合い、集団の中で自分の力やよさを発揮する児童生徒	2	周りの人と関わりながら、生き生きと活動する児童
	重点事項	(1) 決まりを守り、友達や周りの人と仲良く行動できる態度を養うことができるようにする。 (2) 人との関わりを深め、生き生きと活動するために、言語、サイン、カード、指さし等の手段を活用して意思表示をする機会を多く作る。 (3) 学校間交流や居住地校交流を通して学校外や地域の人との関わりを深め活動できるようにする。 (4) 計画的なスクーリングの実施やオンラインによる交流機会等を設けることで、児童相互の関わりを深めることができるようにする。
発達に応じた知識や技能を身に付けた児童生徒	3	身の回りのことが自分でできる児童
	重点事項	(1) 職員相互、保護者及び関係機関との連携を密にし、一貫性のある指導を行う。 (2) 自立活動の指導の充実を図り、児童が主体的に学習をしたり生活を送ったりすることができるようにする。 (3) 教育活動全般を通して、生活年齢や発達段階に応じた「性に関する指導」や「摂食・食育に関する指導」の充実を図る。 (4) 児童の障害特性や興味・関心に応じた教材・教具を工夫したり、ICT機器等を効果的に取り入れたりして、分かる授業づくりに努める。
様々なことに興味・関心を持ち、自ら関わる児童生徒	4	興味・関心を広げ、自分でやってみようとする児童
	重点事項	(1) 児童の障害特性の理解や発達段階等の把握に努め、「自己指導能力」を育成する指導・支援に取り組み、授業の改善と充実に生かす。 (2) 人や自然との触れ合いを通して、日常生活の事柄について興味・関心を広げ、体験的な活動を通じて児童の「やりがいや生きがい」を醸成する。 (3) 学級での係活動や学校の委員会活動等の内容や参加方法を工夫して、主体的に活動できるようにする。 (4) 校外での学習、スクーリングの充実に努め、経験の拡大を図る。